



ご協力に感謝いたします。 後志地区ボランティア連絡協議会 会長 小野 幸子

8月に「ボランティア愛ランド2025 in しりべし」を開催し、管内の社会福祉協議会とボランティアの皆様には大変お世話になりました。会場も、600名収容できる当町の公民館大ホールを準備段階で確保いたしましたが、排煙設備の故障で使用できなくなり急遽近くの小学校をメイン会場としてご用意させていただきました。

8月という大変暑い中、皆様には沢山の方々にご協力いただき無事開催し、次期開催地の渡島地区の北斗市にバトンを渡すことができました。

また、6月の研修会では風船アートでキリンさんや剣、ハート等作り童心にかえて楽しんで研修でもありました。

今後もボランティア活動に役立つ研修に取り組みながら、楽しく、心の通い合う活動を目指していきましょう。



令和7年8月30日

ボランティア愛ランド北海道2025 in しりべし

倶知安町

～つながろう！とどけボランティアの熱い風～

令和7年8月30日、ボランティア愛ランド北海道2025 in しりべし～つながろう！とどけボランティアの熱い風～を、倶知安町立倶知安小学校体育館他2会場で開催し、道内のボランティア団体関係者約500名が集いました。

オープニングアトラクションは「くっちゃんブラスオーケストラ」による演奏の後、アルプホルンという演奏者よりも大きな楽器を雄大に奏でました。また、「おやじダンサーズ」ともコラボし、素晴らしいパフォーマンスを披露し参加者を歓迎しました。

その後、第49回道新ボランティア奨励賞贈呈

式が行われ、今年度は8団体表彰がされました。後志管内からは、京極町の「京極町男性の会」と、倶知安町の「ちょぼら六郷除雪隊」の2団体が表彰され、倶知安町ちょぼら六郷除雪隊の阿部 和則 様の謝辞がありました。

記念講演、分科会を行った後、閉会式では、北海道社会福祉協議会ボランティア副部会長（後志地区ボランティア連絡協議会会長）小野幸子より閉会挨拶があり、次期開催地の北斗市社会福祉協議会 会長 柳谷 友明 氏へ大会旗を引継ぎ、閉会式となりました。



この事業は共同募金の配分金の配分を受けて行っています

ちょぼら六郷除雪隊

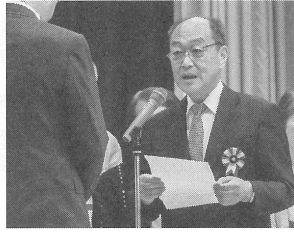
この度は、12年間のちょぼら六郷除雪隊の活動に対し、「道新ボランティア奨励賞」をいただき感謝申し上げます。

町内会の人口が減少し、これからの活動に不安を感じた時もありましたが、一方で若い人も手伝ってくれるようになるなど、明るい兆しも出てまいりました。

大切なことは、豪雪地帯における「除雪ボランティア」と「安否確認」の役割はなくなりませんし、ボランティア活動に取り組もうと思った方が、いつでも参加できる仕組みを残しておくなど、細くなくても長い取り組みが必要なことだと思えます。

私たちちょボラ隊員は住み慣れた地域で少しでも安心・安全で快適な暮らしができるよう、これからも「ちょっとボランティア活動」を続けてまいります。

会長 阿部 和則



団体紹介

我が町、倶知安町は道内有数の豪雪地帯であり、冬期間の雪の問題は全町民にとって避けて通れない問題です。冬期間降り続く雪対策の不安・負担により、町外に転出する高齢者等もけっして少なくありません。

私たち「ちょぼら六郷除雪隊」は、「同じ町内会に住む者同士、互いに助け合っていこう」という共助の精神のもと町内会会員に参加を募り2013（平成25）年に結成しました。

これまでの12年間、町内会で生活する高齢者世帯、単身老人宅の除雪を手助けする活動を通して、安全・安心の確認や、町内会としての連携コミュニケーションを図りながら、防犯活動や災害時の声援活動の機能を高めることを願い、活動しています。

記念講演

旭川市旭山動物園統括園長の坂東 元氏を講師に迎え、「伝えるのは命・つなぐのは命」と題し、講演をしていただきました。

旭山動物園に長年勤めた経験を通して、かわいらしい動物の写真を見ながら園でこだわった野生のままの動物の姿を受け入れてもらいつつ、来園者が楽しく園内を体験していく動物園を作り上げた姿勢と、本来の自然体な動物の習性や生きている様子を体験することで、自然の大切さを身近に感じてもらう事を教えてくださいました。



第1分科会

第1分科会は、留寿都高等学校 教諭 山形 孝宏氏より「留寿都高校の取組み」と、留寿都村社会福祉協議会 事務局

局長 小泉 洋平氏より「留寿都村社会福祉協議会の取組み」を実践発表していただき、コメンテーターとして北海道社会福祉協議会 福祉教育専門委員会委員長 佐久間 彰氏を迎え倶知安町公民館中ホールにて開催しました。

留寿都高校と留寿都村社会福祉協議会はこれまで、学校祭と福祉まつりを共同開催した「るすつふれあい広場」、「花いっぱい運動」、「会食サービス」があります。また、今年より留寿都高校の農業福祉科の協力を得て「畑プロジェクト（仮）」をスタートしました。地元高校と社協が協力することで、地域により密着した活動が可能になり、交流を継続している事は村にとって良い効果を生んでいる事業である報告でした。



おやじダンサーズ



くっちゃんプラス

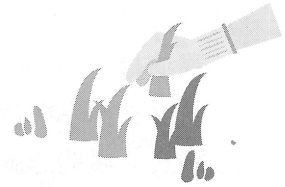


おやじダンサーズとくっちゃんプラスコラボ

京極町男性の会

団体紹介

京極町男性の会は、高齢男性の社会参加や介護予防を目的に立ち上がった団体です。「買い物や散歩中に一休みする場所がない」という高齢者の声から、手作りベンチ「おっちゃんこ」を町内11か所に設置するなど得意なことを活かした活動を続けています。また、令和7年は町有地等の草刈りや中学校技術の授業の補助ボランティアなど活躍の場を広げています。



このたびは、「道新ボランティア奨励賞」という身に余る賞を頂き、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。もともとは「介護予防」を目的に活動を始めたところではありますが、こうした活動が地域の皆様の「助け」として評価いただけるようになったことは、メンバー一同この上ない喜びであります。今後も無理のない範囲で「できることを、できるときに、できる人と一緒に」の気持ちで活動を続けていきたいと思っております。

今回の受賞を励みに、仲間と力を合わせて、ふれあいの輪を広げていけるよう努めていきます。

第2分科会

第2分科会は、小樽商科大学 副学長 片桐 由喜氏より、「ボランティア活性化—小さな親切・大きな支えをめざして—」と題して北海道総合振興局講堂にて開催しました。

講演はボランティアの定義を明確にし、ボランティア実践者の人数推移を参考に、現在のボランティアを取り巻く状況を考えるきっかけとなりました。

小樽商科大学では「社会連携実践」の講義にてボランティア活動を一定時間することで単位を得られるようになっており、学生にボランティアへの理解と経験を得る事で活動参加のハードルを下げる事も目的になっています。ボランティア活動に触れて継続してもらうためには、どうしたらよいのかと人材確保について考える機会となりました。



第3分科会

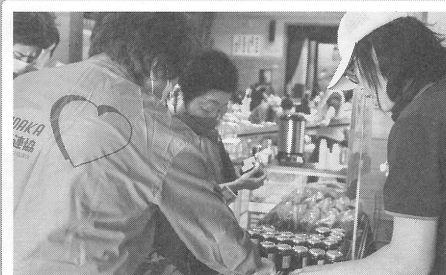
第3分科会は、南部 広司氏より、「もっと素敵にレクリエーション—実践—」と題して倶知安小学校体育館にて講演を開催しました。

毎年人気の講演で、座りながらも手や足を動かして体の機能の維持向上につながるレクリエーションを参加者の皆さまにも体験していただき、実践できるよう教えていただきました。

今回も大きく体を動かして、移動で緊張した体と心をほぐすことができ、顔色晴れやかな参加者の皆さまのお顔を見る事が出来ました。



会場内様子



出店状況



閉会式

令和7年度

後志ボランティア研修会

令和7年6月7日、「後志ボランティア研修会」(ボラネット事業)を倶知安町、ホテル第一会館プラザホールを会場に開催し、後志管内のボランティア団体関係者112名が集いました。

講演は、「バルーンアートを楽しむ」と題し、札幌レクリエーション協会 インストラクター 伊藤 雅子 氏を講師に迎え行われました。

細長い風船を膨らませて、ねじり、形を作り上げていくバルーンアートは、講師が鮮やかに作り上げていく完成品を見ながら参加者が作製し、沢山の色とりどりの風船に会場は包まれました。

当日の作品は、尻尾をひっぱり飛ばせるジャンピングねずみ、キリン、勇者の剣といった作るだけでなく、遊びに用いる事が出来るものもあり、子どもとのコミュニケーションになる作品を中心に教えて頂きました。

会場内は、講師の通る明るい声を中心に、風船を作品に仕上げる途中で参加者同士による教え合いはボランティアを行うにあたり、意思疎通やコミュニケーションを研修で実践できた良い機会になりました。

